

# press release

## ノボ ノルディスク ファーマ株式会社

2024年12月16日  
PRESS-24-37

### ノボ ノルディスク ファーマ、大阪に物流拠点を新設

医薬品の安定供給の維持に向けた体制を構築するために、運用効率の向上と品質管理を強化。  
物流の「2024年問題」の解消、環境負荷低減にも貢献

ノボ ノルディスク ファーマ株式会社 (代表取締役社長: キヤスパー ブッカ マイルヴァン、本社: 東京都千代田区) は、物流拠点 (大阪物流センター) を大阪に新たに開設し、2025年2月25日 (火) から稼働いたします。

ノボ ノルディスク ファーマは、これまで埼玉の物流施設 1 拠点から全国へ医薬品の輸送を行ってきました。今回の大阪物流センターの新設により 2 拠点体制となり、製薬企業の使命である継続的な医薬品の安定供給を維持するための体制が整備されることとなります。西日本地域に物流拠点を置くことで、同地域への輸送時間をこれまでと比べて 1 日短縮することが可能となり、西日本と東日本地域の輸送の時間差を是正します。

### 大阪物流センターの特長

- ① 運用効率の向上**  
共同物流センターとして運用されているため、施設全体で人員および作業手順を共同化することが可能となっています。これにより大阪物流センターに欠員が出た場合や配送量が増加した場合に、同施設内の他の物流センターから人員を投入することが可能となり、作業量が平準化されて運用効率が向上します。
- ② 品質管理の強化**  
厳格な温度管理が求められる医薬品においては、通常、錠剤などの室温品は 1~30℃での保管が求められますが、大阪物流センターでは保管エリアのみならず入出庫エリアも含めて 15~25℃での温度管理が可能となっております。これにより、外部環境からの影響を最小限に抑えることで厳格な品質管理を実現します。また、注射剤などの保冷品についても、保管エリアと入出庫エリアを含めて保管温度である 2~8℃で管理しており、医薬品の品質保全に配慮した設計を施しています。
- ③ 物流の「2024年問題」\*の解消に貢献**  
運送会社の拠点が近くに位置しているため道路状況の影響を受けにくく、配送・入出庫作業を計画的に行うことができることで時間ロスを削減し、物流の「2024年問題」への解消に貢献します。
- ④ 環境負荷低減**  
東日本から西日本地域へのトラック輸送頻度が減少することで、年間約 415 万 km のトラック走行距離、および CO<sub>2</sub> を約 87 トン削減できることになり、環境負荷低減につながります。また、同センターには、太陽光発電設備も設置されています。

\*物流の「2024年問題」とは、働き方改革関連法の施行により自動車運転業務における労働時間が短縮され、国内全体の輸送能力が不足する社会問題のことです。

### <施設概要>

- 名称:大阪物流センター
- 所在地:大阪府茨木市下井町1番23号
- 稼働開始日:2025年2月25日(火)
- 配送地域:西日本地域(東海、北陸、近畿、中国四国、九州、沖縄)

### ノボ ノルディスクについて

ノボ ノルディスクは、1923年創立のデンマークに本社を置く世界有数のヘルスケア企業です。私たちのパーパスは、糖尿病で培った知識や経験を基に、変革を推進し深刻な慢性疾患を克服することです。その目的達成に向け、科学的革新を見出し、医薬品へのアクセスを拡大するとともに、病気の予防ならびに最終的には根治を目指して取り組んでいます。ノボ ノルディスクは現在80カ国に約72,000人の社員を擁し、製品は約170カ国で販売されています。日本法人のノボ ノルディスク ファーマ株式会社は1980年に設立されました。詳細はウェブサイトをご覧ください。  
([www.novonordisk.co.jp](http://www.novonordisk.co.jp))